

福井大学学術協定校への派遣留学（交換留学）月例報告書（2月分）

留学先大学：ナポリ東洋大学
氏名：村中陽香

こんにちは、村中です。半年間の留学もいよいよ終わりを迎えました。慣れるまでは長く感じていましたが、年末頃からは毎日あっという間に過ぎ、いつの間にか帰国が近づいていました。今月は期末テストがあったため勉強に追われた月でもあり、また帰国直前にしてナポリならではの怖い体験もしたので、長くなってしまおうと思いましたがそのことについてお伝えします。

【期末テスト】

私は英語開講のアメリカ文学の授業と、イタリア語開講の日本近現代史を履修していたので、その2つのテストを受けました。アメリカ文学に関しては、2月の初めに筆記のテストがあり、その2日後に口頭のテストがありました。筆記のテストの日は、特に連絡が無かったのでいつもの授業の教室で行われると思っていたのですが、教室に行っても誰もいなかったため、たまたま通りかかったイタリア人の友達に聞いてみたら、オンライン上でテストの教室が見れるとのことで見てもらうと今まで使ったことのないキャンパスで行われているとのことでした。そのため筆記のテストには40分ほど遅れてしまいました。教室に入ると先生にどうしてこんなに遅れたの？と聞かれたので事情を説明したところ、何日も前からオンラインに載せてたでしょ！と言われたのですが、日本人留学生は誰もそのページに載っていることを知らなかったのので、テストの前にはイタリア人に頼んで確認してもらうのが確実だと思います。。ただでさえテストが不安すぎだったので、突然の予期せぬハプニングでとても焦りましたが、中間テストを受けていたので問題数が少し少なかったため、なんとか乗り切ることが出来ました。

2日後の口頭試験は先生のオフィスで行われました。履修者は30人くらいいたのですが、全員が朝の10時前に集められ、その後の試験は二人ずつ、しかも一人に結構な時間を使うので、オフィスの前で5時間ほど待ちました。私の順番はまだ真ん中くらいだったので、おそらく夜までやっていたのだと思います。口頭試験はどんなことを聞かれるのか全く想像できなかったので待っている間も本当に緊張しました。実際には留学生ということで他のイタリア人の生徒とは違った問題を聞かれました。自分の意見を交えながら2つの問題に答え、無事単位をもらうことが出来ました。イタリアではほとんど全ての授業において、筆記と口頭の両方が受からないと単位をもらえないので、テストに関しては本当に大変だと感じました。

日本近現代史のテストは、イタリア人の生徒は通常通り筆記と口頭の両方を受けるのですが、担当の先生が日本人留学生向けに特別課題としてレポートに変えてくださったので、イタリア語がほとんどできない私でも受けることができました。授業に関することでA4用紙4~5枚でレポート課題が出たので、その課題を提出して単位をもらいました。

履修していた授業数は少ないですが、ひとつひとつの授業がテストを含め重いので、テスト期間は本当につらかったですが、履修していた科目は全て単位と取ることができたので良かったです！

【ナポリの治安について…】

テストが無事に終了し勉強漬けの毎日から解放されたので、帰国前にイタリア内の旅行に行こうと計画していました。一人で3都市まわる予定だったので、電車に乗るために朝6時くらいに中央駅に向かって歩いていました。ナポリでは朝7時くらいにならないと外が明るくならないので、暗い道を一人で歩いていたら、バイクに2人乗りをした男が歩道に乗り上げてきて、後ろからショルダーバックをひったくられてしまいました。後ろから狙われていたので気づいたときには一瞬でカバンを盗られてしまい、あっという間にバイクで逃走されてしまいました。カバンの中には財布やクレジットカード、現金(5万円弱)、Wi-Fiのルーター、そしてパスポートが入っていたので大切なものが全て盗られてしまった形でした。携帯だけは服のポケットに入れていたので不幸中の幸いでしたが、私はSIMカードではなくWi-Fiを持ち歩いていたので、Wi-Fiがないところでは携帯も使えなくなってしまいました。あまりに一瞬の事だったのでどうすれば良いか分からなかったのですが、すでに家から15分ほど歩いていて駅の近くまで来ていたので、駅まで行って近くのカフェに入り、Wi-Fiを借りて親に電話しました。クレジットカードを止めてもらわなければならなかったのも、事情を話してカードを止めてもらい、家に帰りました。

家に帰ってルームメイトに事情を説明すると、ルームメイトがすぐに警察に連れて行ってくれました。警察では被害届をもらうために詳しく経緯を説明しなければいけなかったのですが、英語を話せる人がいなかったのも、英語とイタリア語が話せるルームメイトがいてくれなかったら本当に何も出来ていなかったと思います。無事に被害届を受け取り、次はパスポートを発行しなければいけませんでした。帰国の1週間前にひったくりに遭ったので、パスポートではなく、帰国のための渡航書というものを発行してもらわなければならなかったのですが、発行のためにはローマに行く必要があったので急遽ローマに行くことになりました。事件の当日に必要な書類を全て集めてローマの大使館に行き、なんとか渡航書を受け取ることが出来ました(ローマにいる間はずっと食あたりになってて本気で死にそうでした)。

そんなこんなでハプニングだらけの帰国前1週間でしたが、なんとか無事に生きて日本に帰ることができました。思わぬハプニングで恐怖体験をしてパニックになる気持ちと、旅行が全部なくなったり大切なものが全部盗られた悲しみと、いろんな人に迷惑をかけまくってて本当に申し訳ない気持ちとで感情がぐちゃぐちゃになって、その日1日はありえないくらい泣きましたが、泣いてる暇も無いくらいいろいろな手続きに追われていたのと、たくさんの方が助けてくれたので早めに切り替えることができました。多分最初の方の報告書で、『気をつけていればそんなに治安悪くないです』みたいなことを書いていたと思うのですが、普通にとっても治安悪いと思います。私がナポリにいた5ヶ月間で3人の日本人が同じようなひったくりの被害に遭っているし、イタリア人でさえ携帯を盗られたりした人を何人も聞いているので、暗くて人があまりいない時間は特に気を張って、カバンは服の下にかけるか斜めがけをするなどして対策しなければならないと思いました。そしてひったくりと食あたりの

ダブルパンチを体験して強く感じたことは、健康第一だということです（笑）健康に毎日暮らせていることのありがたみを痛感しました。。今だから笑って話せますが、当時は本当につらかったです。イタリアでも日本でも周りの人たちがたくさん助けてくれたので、パスポートも盗られましたが無事に帰国できたと思っています。

【おわりに】

とても長くなってしまいましたが、2月は本当に濃い一ヶ月になりました。日本に帰ってきて、日本の平和さとナポリの治安の悪さを実感しましたが、最後の一週間を除けばナポリでの思い出はほとんどが楽しい思い出です。とにかく食べ物が美味しいし、人もとても親切なので、毎日が楽しかったです！ただ、上に書いたように危険なことも残念ながらまだまだ頻繁に起こっているので、一人でいるときや暗い時間は特に注意が必要だということをお伝えできればと思い、今回の報告書のテーマにしました。私の経験がこれからナポリに行きたいと考えている方の注意喚起になれば良いなと思っています！最後の1週間のつらい思い出があっても私はナポリが大好きなので、必ず楽しめるということは間違いないと思います！半年間の留学を通して、ナポリ東洋大学に留学できて本当に良かったと思っているし、ナポリやイタリア全体のことも大好きになりました。日本にいたら絶対にできない経験ができて、私生活の面でも勉強の面でも成長できたのではないかと思います。旅行できなかった都市とナポリには必ず近いうちに遊びに行こうと思っています！

（写真は美味しすぎるピザと、帰国日にお見送りしてくれたみんなとの写真です！）

